

中体連で活躍した選手の皆さん!

※ベスト8以上の入賞者のみ掲載しております!

全国中体連大会(全国大会)結果

剣道

女子個人 中尾文香(阿蘇中) 優勝
※九州大会3位、県大会優勝

女子団体 阿蘇中学校 3位
※九州大会優勝、県大会優勝

期日 8月17~19日 場所 徳島県鳴門総合運動公園体育館



九州中体連大会(九州大会)結果

ソフトボール

女子 一の宮中学校 ベスト8 ※県大会優勝
期日 8月6・7日 場所 長崎県立総合運動公園

柔道

個人44キ口以下級 小西愛子(一の宮中) ベスト8 ※県大会優勝

個人90キ口超級 家入史幸 ベスト8 ※県大会準優勝

期日 8月11・12日 場所 福岡市立九電記念体育館



県中体連大会結果

柔道

団体 一の宮中学校 ベスト8
個人81キ口以下級 島田侑典(一の宮中) 3位



剣道

女子個人 秋吉優美(阿蘇中) 準優勝

⇒ 九州大会及び全国大会へ



空手道

1年女子個人組手 川上真莉奈(阿蘇中) 3位
団体組手 阿蘇北中学校空手チーム 準優勝

⇒ 九州大会へ

バレーボール

女子 阿蘇北中学校 ベスト8



相撲

団体 阿蘇北中学校 準優勝 ⇒ 九州大会へ

個人1年の部 靄林将也(阿蘇北中) 3位

” 今村礼人(阿蘇北中) 3位

個人2年の部 多久守(阿蘇北中) 3位

個人代表の部 岩本拓也(阿蘇北中) 準優勝

⇒ 九州大会及び全国大会へ

ソフトテニス

男子団体 阿蘇北中学校 3位



全国大会出場おめでとう。がんばれ選手たち!

第9回全日本小学生新相撲大会出場

相撲競技

女子 今村彩華(乙姫小5年)

期日 9月17日 場所 大阪府堺市

第3回全日本中学生新相撲大会出場

相撲競技

女子 岩本幸奈(阿蘇北中2年) 西岡美里(阿蘇北中1年)

期日 9月17日 場所 大阪府堺市

大会新記録及び県記録更新！

4×400mリレーで全国2位

波野中学校出身で、現在信愛女学院高校3年の江良唯華さんが、大阪市長居陸上競技場で開催された全国高等学校総合体育大会(インターハイ)陸上競技の女子4×400mリレーに出場し、みごと準優勝しました。江良さんは、高校1年生から信愛女学院のリレーの代表選手として出場し、昨年は全国高校ランキング1位のプレッシャーもあってか、全国5位という結果に終わったとのこと。今年はその雪辱を晴らすべく試合に臨み、みごと準優勝(大会新)、しかも県記録更新という有終の美を飾りました。おめでとうございます！



◀ 照れながらも嬉しそうに結果を話してくれた江良さん

点検者に「かしら～なか」

少年消防クラブ相互交流会

7月31日、中通小学校少年消防クラブと天草市の高浜小学校少年消防クラブが交流会を実施しました。県下で少年消防クラブがある小学校同士というのがきっかけで、交流することとなり、今年で14回目となります。当日は、中通小学校体育館でお互い通常点検を行い、きびきびとした動作を点検者の阿蘇市長に披露しました。その後、アゼリア21でプール・入浴、古代の里キャンプ村で夕食会を開き、交流を図りました。



▲(上)中通小少年消防クラブ (下)高浜小少年消防クラブ

美大生による芸術ワークショップ

制作活動の合間、子どもたちと交流

下西黒川公民館で8月1日から10日間、美術活動のため滞在製作をしていた坂梨慈兼さん(武蔵野美術大学4年)ら9人のサークルメンバーが、乙姫小学校の児童たちに美術にふれる機会をもうけようと、「思い出を絵にしよう」をテーマにワークショップを行いました。

この他にも『内牧駅ホームにアートメイク』『地元の人出演で駅のCM作成・放映』『ASO田園空間博物館での作品展示』などたくさん本格的なアートを提供してくれました。さらに、石本区長が阿蘇の民話・歴史をメンバーに紹介したおかげで、それらを題材にした作品も生まれそうです。



▲ワークショップのようす

利用者200万人を突破

アゼリア21の天然温水プール

平成7年6月にオープンした「アゼリア21」の利用者が、7月31日、200万人(プールのみの利用者数)を超え、ちょうど200万人目となった熊本市の家族ずれに記念品が贈られました。アゼリア21は、住民の健康増進、観光振興を図ることを目的に、熊本県初の屋内50メートル公式温水プールとして一の宮町に建設。温泉大浴場と、その後建設された、交流促進センター、あぜり庵と合わせ、これまで多くの人たちに親しまれてきました。来年は、草などをエネルギー転換した燃料利用により日本初のエコ施設としても注目を浴びそうです。



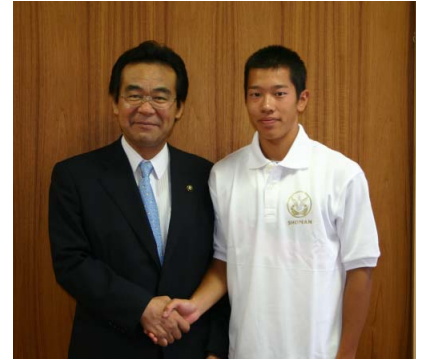
▲(市長から記念品と花束を贈られた200万人目の家族ずれ。「チラシを見て今日初めて来た、施設が大きくてキレイ、十分楽しめそう」と、思わぬプレゼントに大喜びでした。

各種目で入賞4つ！

全国高校総体カヌー競技で大活躍

阿蘇北中学校出身で、現在陸上自衛隊少年工科学学校3年の中村敏文さんが、山梨県精進湖で開催された全国高等学校総合体育大会(インターハイ)カヌー競技に神奈川県代表として出場し、各種目で栄えある成績を収めました(下記参照)。このような素晴らしい成績を収めた中村さんですが、なんとカヌーを始めたのは陸上自衛隊少年工科学学校に入学してからとのこと。中学校ではバレー部だったそうです。今後は卒業して陸上自衛隊員として仕事を頑張りたいと語ってくれました。おめでとうございます！

カヤックペア500m 5位、カヤックフォア 500m 3位
カヤックペア200m 3位、カヤックフォア 200m 4位



▲市長へ結果報告をしに来庁してくれた中村さん

教職員の指導力アップを目指し

阿蘇市教育研究会を発足

阿蘇市の小中学校の教職員の指導力の向上を目指した「阿蘇市教育研究会」が8月4日設立され、未来館で発会式及び熊本県教育長柿塚純男氏による記念講演会が開催されました。

研究会は、校長による学力向上研究部会をはじめ、各教科領域部会、中学校区部会などの複数の部会で組織し、数々の実践研究や分析、調査を行いながら、阿蘇市全体の学力アップを図ります。発会式に勢揃いした230人の教職員は、日吉教育長らの意識改革を求めた熱い話に身を引き締め、2学期に向け気持ちを新たにしました。



「田んぼの学校」を開催

水・土・里ネット阿蘇、一の宮が環境保全イベント

子どもたちに、農業に親しみ自然と遊びながら、水と豊かな自然を大切によりよい社会をつくる学習をしてもらいたいと、阿蘇土地改良区・一の宮土地改良区が、8月6日、「田んぼの学校 in 阿蘇ん里」を開催しました。3回目となる今回は、～先人の知恵と阿蘇の自然の恵みに感謝して～をテーマに「農業用水の(役割)」「的(石)神話(上島博喜さん坂崎とよ子さんの説明協力)」「的(石)お茶屋跡(小糸豊寛さんの説明協力)」「魚のつかみ取り」「水鉄砲づくり」などを実施。約100人の参加者たちは、暑い日ざしの中、地元の農業・身近な自然に触れ、この活動に共感した様子でした。



阿蘇清峰高校の存続を求める運動が続く

同窓生や保護者・地域住民が「決起集会」開催

これから県が実施する県立高校再編整備に伴い、「阿蘇清峰高校が阿蘇高校に統合される」という計画をうけ、阿蘇市内で今盛んに学校存続を求めた運動が展開されています。本計画素案は「阿蘇清峰高校は2007～2009年中、阿蘇高校(本校とする)と統合し、農業関係施設や整備を残し、総合選択制にする」というもの。

明治32年学校創立以来、農林業自営者の育成、赤牛や牧草地の改良など農業を基本とした教育に取り組み、多くの阿蘇の農業を担う人材を排出してきた阿蘇清峰高校。卒業生は1万3千人になります。

7月30日、同窓会会長大寫開太郎氏、現PTA会長村上清元氏などが主催した「決起集会」が催され、多くの地元関係者、同窓会、保護者などが学校存続を訴えスローガンを採択しました。このほか同窓会が署名活動を実施し、8月中旬に潮谷県知事に提出しています。阿蘇市でもこの運動に協力し存続を訴える方針です。

堂々の全国2位！

阿蘇清峰高校日本拳法部が準優勝



▲左下から、濱先生、中田さん、江藤(駿)さん、興梠さん
左上から、古里さん、江藤(拓)さん、石坂さん、緑さん

7月28、29日、大阪市立修道館で第51回全国高校日本拳法選手権が開催され、阿蘇清峰高校が団体戦(5人編成)で準優勝しました。競技内容はポイント制で、先に2ポイント先取したほうが勝利するというこの日本拳法は、清峰高校では10年前にクラブチームから正式に日本拳法部として認可され、現在では全国でも強豪な高校として名を馳せています。阿蘇清峰高校日本拳法部のみなさん、おめでとうございます。

※日本拳法は昭和初期から伝わりはじめたそうで、打撃・投げ・絞め・なんでもありの格闘スポーツです。

夏休みに流れた帰宅時を知らせるあの声は…

小学生が防災無線に協力

「阿蘇市の小学生の皆さん、今日も一日元気に過ごせましたか。まだ外で遊んで…」と夏休み期間中、夕方5時に防災無線から流れたあのお知らせ。実は、小学校の児童たちが、市内全体の子どもの安全のためにと、録音協力し放送されたものです。市では安全に対する習慣的な意識付けに、昨年「子どもの声での呼びかけ」を採用しています。

右側の写真は今回協力してくれた子どもたちです⇒

※齊藤未歩子さん(乙姫小6年)、山内奈実さん(宮地小6年)にもご協力いただきました。



▲佐藤舞さん
(碧水小6年)



▲日田湧大君
(阿蘇西小6年)



▲財津源基君
(坂梨小6年)



▲笹原信也君
(中通小6年)



▲榎野麻里さん
(波野小6年)



▲後藤榛花さん
(波野小6年)



▲加藤葵さん
(波野小6年)

高校が中学校へ出前授業

高校生と中学生の交流



▲交流の様子

阿蘇高校は今年初めて、地元の中学生を対象に、学校を理解し親しみを感じてもらうことを目的とした「高校生チューター&出前授業」を企画しました。8月22・23日、阿蘇高校の生徒約40人と教員数人が、阿蘇北中を訪問。「出前授業」では、高校教員が中学校の教壇に立ち授業を展開。また、「高校生チューター(指導者)」では、夏休みの宿題や様々な質問に応じ学習面をきっかけに交流を行いました。中学生らは懸命に教えてくれる高校生たちの言葉をもらすまいとノートにとり、様々な面で刺激になった様子でした。

古城六区が宝くじ助成事業で地区活動備品を整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、古城六区が地区活動の備品を整備しました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじの普及広報事業費を財源として、財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、今後の地区の活性化や住民のコミュニティを図り、大人と子どもの世代間交流に役立てていきます。



全国大会出場！

県大会3年ぶりの快挙

7月25、26日、上益城郡山都町で熊本県学校農業クラブ連盟測量競技大会が開催され、阿蘇清峰高校の測量競技部が3年ぶりに優勝しました。当日はほとんど誤差のない測量を披露し、100点(満点)を獲得。同じく熊農高も100点を獲得するというまれに見る接戦となりましたが、より測量の正確さが勝っていた阿蘇清峰高校が見事、10月に愛媛県で開催される全国大会の出場を決めました。「目標は全国制覇、先生方や周りの方に感謝しながら頑張りたい、県の代表なので熊本県の意地を見せてやりたい」と抱負を語ってくれました。優勝できれば昭和58年の第34回大会以来の快挙。阿蘇清峰高校測量競技部のみなさん、頑張ってください。



▲選手メンバーは野田秀治さん(一の宮中出身)、成田朋広さん(阿蘇北中出身)、上村涼太さん(一の宮中出身)の3人



▲火焚き殿での様子

「阿蘇の農耕祭事」

おんだ祭りに続き、「火焚き神事」始まる



国指定重要無形文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つ、火焚き神事が8月19日から始まりました。今年の火焚き乙女は甲斐恵利花さん(碧水小3年)。介添えの祖母、与喜さんとともに、火焚き殿で火焚き神事をつとめました。神事は10月16日まで59日間続けられ、その間、年番の下役犬原が火を管理します。神事は歴史があり、2500年以上続いているそうです。



▲祖母と2人で

火焚神事の話 「資料 阿蘇」より抜粋

鬼八法師の怨念を鎮めるため、阿蘇谷の真ん中に阿蘇大明神は、自ら「霜宮」を祀られ、初秋の霜害の起こらないよう火焚の神事をなされた。この火焚きは竹原、上役犬原、下役犬原の3部落から選ばれた未通の少女が、8月19日の夜から59日間、霜宮の近くの火焚殿にこもって昼夜火を焚いて健甞龍命に斬られた鬼八の首が寒で痛むのを暖めて、稲の実りまで霜の害を防いだ…。



▲火焚き神事のみこし

ボランティア活動ありがとうございました！

<地元の中学・高校生> ☆清掃 ペンキ塗り☆

7月27日、一の宮中学校、阿蘇高校、阿蘇清峰高校の生徒たち約60人がJR宮地駅前駐輪場の清掃活動を行いました。当日は城北地区塗装業協同組合阿蘇支部の指導や阿蘇市防犯協会少年指導員の協力のもと、ブラシやサンドペーパーなどを使い、駐輪場外壁の汚れ落としやペンキ塗りを行いました。きれいな場所には犯罪(盗難)も発生しにくくなるという防犯効果もあります。皆さん、ありがとうございました。



県消防大会小型ポンプの部で3位!

健闘、阿蘇市代表「東黒川」



▲東黒川の選手たち
指揮者 霧林英樹さん 1番員 辻洋一郎さん
2番員 軽木健臣さん 3番員 中村修一さん
補助員 西浩一郎さん

第26回熊本県消防大会が8月27日、人吉市で開催され、阿蘇市から、小型ポンプの部に出場した第6分団第1班東黒川の皆さんが、県内26団体が出場する中、堂々の3位に輝きました。同じくポンプ車の部に出場した第1分団機動班の皆さんは惜しくも入賞にいたりませんでした。

東黒川の霧林英樹班長は「3月から毎日のように練習してきた。県大会ではわずかの差で優勝を逃したが、皆よくやったと思う。これまで支えてくれた団員、地区、家族にお礼を言いたい」と、練習で真っ黒に日焼けした顔で感想を述べられました。なお東黒川は昨年に続き2度目の県大会出場でした。

メッセージつきの風船、大空へ

子どもの健全育成の輪広がれ

公民館坂梨分館(中川竹久館長)は、主催して行ったラジオ体操、美化活動にがんばった子どもたちのため、毎年、顔の何倍も大きな風船をプレゼントしています。8月13日は小学生が、23日は坂梨保育園の園児たちが、手作りのメッセージカードを結び、思いを乗せて一斉に飛ばしました。以前、愛媛まで風船が飛び返事が届いたそうです。今年もたくさん手紙が届くといいですね。



▲風船をとばす園児たち

800人が野山を走る

阿蘇火の山クロスカントリー大会



▲大会のようす

第3回火の山・阿蘇クロスカントリー大会(熊本陸協、阿蘇市主催)が、8月27日、阿蘇観光牧場のコースで開催され、小学生から実業団まで全国から約800人のランナーがアップダウンの効いた芝のコースを力走しました。種目は2kmから10kmの男女。大会には、地元の小学生、中学生も多数参加。県内外小中生の選手とともにハードなコースに挑みました。また、阿蘇市で合宿していた県内外の高校、大学、実業団の有力選手も勢揃いし、大会を盛り上げました。注目の男子10kmの優勝者は男子が藤田慎平さん(亜細亜大)、女子5kmが飯野摩耶さん(第一生命)でした。

碧水小学校Aが見事優勝!

防犯親子ソフトボール大会

第35回阿蘇地区防犯親子ソフトボール大会(主催 阿蘇地区防犯協会連合会・産山村・阿蘇市・各教育委員会・各PTA連絡協議会・阿蘇郡市小学校体育連盟)が7月30日、産山村運動広場グラウンドで開催されました。13チームが出場した中、碧水小学校Aチームが優勝、2位は波野小学校という結果でした。試合は3回までを子どもがプレーし、残り制限時間までを大人がプレーするルールとあって大盛り上がり。練習の成果を出そうと皆、大きな声援をうけ熱戦を繰り広げました。



▲優勝メンバーで記念撮影

賑わいをみせた夏祭り

～Memorise time's Photo Shot～



▲子どもたちの元気いっぱいの榊みこしが火の山まつりの始まりを告げる

8月15日は「なみの高原納涼まつり」が、8月16日は「一の宮夏祭り」が、8月19・20日は「阿蘇火の山まつり」が開催され、盛大に賑いました。各祭りとも、様々な催し物が企画されており、最後は総おどりや花火大会で祭りの盛り上がりも最高潮になっていました。



▲国際ワークキャンプの皆さんも祭りに参加し、出し物を披露



▲御神火の点火をした阿蘇中学校2年の『藤原賢志郎くん』



▲一の宮総おどりのようす



▲阿蘇町商工会青年部主催の浴衣コンテストで見事グランプリを受賞した『園田迪子さん』



一の宮盆踊り 結果発表
盆踊りの部 最優秀賞
『阿蘇地域婦人会一の宮支部』
山車の部 最優秀賞
『高森会・治誠会グループ』



昔懐かしい「線香山」楽しむ

(株)まちづくり阿蘇一の宮(長尾章代表)が、阿蘇神社前の中央駐車場で、線香山づくりと夏祭りを開催し、地域の子どもたちに喜ばれました。これは文化協会の人たちと昨年、毎月第4土曜に実施している「あそ伝承文化村ふるさとおもしろ館」の行事の一つで、大きな砂山に特設の手作り滑り台を設けたほか、今年は商工会女性部が作った灯籠も飾られ、色とりどりの灯りが大変きれいでした。「あそ伝承文化村ふるさとおもしろ館」では、毎月楽しい昔遊びを伝承しています。詳しくは毎月の広報の行事に掲載していますので、ぜひ、ご参加ください。



▲線香山で遊ぶ子どもたち